

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度宮崎管内渋滞要因調査分析業務
2. 履行場所 宮崎河川国道事務所管内
3. 契約の相手方 住 所：福岡市博多区博多駅前三丁目2番8号
会社名：株式会社オリエンタルコンサルタンツ
電 話：092-411-6209
4. 契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、宮崎県渋滞対策協議会において選定された宮崎河川国道事務所管内の主要渋滞箇所を対象に、整備効果の確認や特定解除の検討を行うなどのフォローアップを行うとともに、未対策箇所では要因分析を行いピンポイント対策やソフト対策の検討を行う業務である。また、検討内容は、宮崎県交通渋滞対策協議会及びエリアワーキンググループに諮るものとする。

2) 業務の内容

- | | |
|------------------|----|
| ・計画準備 | 一式 |
| ・ETC2.0データの集計・分析 | 一式 |
| ・主要渋滞箇所のフォローアップ | 一式 |
| ・渋滞要因の整理 | 一式 |
| ・ソフト施策の検討 | 一式 |
| ・協議会資料作成 | 一式 |
| ・主要渋滞箇所のカルテ更新 | 一式 |
| ・報告書の作成 | 一式 |

3) 業務に付する理由

本業務の契約方式は技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「ソフト施策の抽出及び推進するための留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、及び評価テーマの「ソフト施策の抽出及び推進するための留意点」に対する技術提案において説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

宮崎河川国道事務所 計画課長